

平成28年度 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	特定非営利活動法人田万川地域サポート21	代表者	椋木正徳	法人・事業所の特徴	山口県北部の自然災害の少ない高台にあり、住宅地や温泉、道の駅、食事処等も近く住環境に優れている。事業所は地域に密着した質の高い多機能のサービス提供に向けて、職員の人材育成を重点的に進めている。運営推進会議の一層の充実を目指し、住民委員の1名増員を承認頂いた。
事業所名	小規模多機能ホームぬくもり	管理者	濱中幸恵		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	2人	3人	3人	2人	2人	1人	1人	4人	人	18人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	特別な改善計画はない。	特別な取組みはしていない。	特に意見はない。	自己評価手続き等に関する特別な改善計画はない。従前の取組みとする。
B. 事業所のしつらえ・環境	同上	同上	事業所は高台にあり安全面では評価できるが、高齢の方が徒歩での来訪には無理がある。	従前の対応とする。
C. 事業所と地域のかかわり	事業所には「介護相談窓口」があるが、その機能・役割等について幅広くPRを行い、利用拡大につなげていく。	事業所の情報誌により「介護相談窓口」があることをPRした。	「地域とのかかわり」は地域密着型のサービスにおいては中軸をなすテーマであり、充実を期待する。	職員が公私にわたって、地域行事やイベント等に積極的に参加するよう呼び掛ける。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	「地域包括ケア」事業について、事業所が貢献できる仕組みについて情報収集し検討を進める。「田万川地域ささえあい協議体」の委員として参加させて頂く。	「介護予防・日常生活支援総合事業」（新・総合事業）に関する全国事例集等の資料収集を行った。「協議体」の委員として参加させて頂いている。	「地域の心配な方」には「高齢ドライバー」の危険性の指摘があった。「心配な方」の定義が不明瞭。対応については介護保険外サービスとしての支援体制を検討してはどうか。	「前回計画」を踏襲する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	D項の改善計画について、運営推進会議でもその取組みについて意見を頂き、取組みの具体化を進める。	運営推進会議において「地域包括ケア」について地域包括支援センターからの説明を頂いた。地域住民代表委員を1名増員させて頂いた。	「高齢ドライバー」の危険性については利用者家族や住民から日常的に情報収集できるのではないかと。	情報交換会や地域住民から得られた地域課題を運営推進会議でも積極的に取り上げる。
F. 事業所の防災・災害対策	地域防災訓練等への参加・協力を積極的に行う。地域住民に事業所の防災へ協力して頂けるよう、地域行事への協力、奉仕活動への参加など、日常的な交流に努める。	地域防災訓練に参加した。事業所の防災訓練には地域消防団幹部の現場指導を頂きながら計画通り行った。「不審者」対応訓練を地元警察署の指導のもと初めて実施した。	事業所の防災訓練に若手地元住民が日中参加するのは極めて難しいのではないかと。	「前回計画」を踏襲する。